

徳地森の子くらぶ（第1回）

令和6年7月20日（土）～21日（日）1泊2日



【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者が自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】小学3年生17名 4年生16名 合計33名

【プログラムの内容】

- 1日目 はじまりの会、みんなでなかよくなろう、テント設営、野外炊事（カレー）、キャンプファイヤー
- 2日目 野外炊事（カートンドック）、テント撤収、日暮ヶ岳登山、おわりの会



みんなで仲良くなるためにアイスブレイクを行った。



食堂でバイキング昼食をとった。



キャンプ場にテントを設営した。



薪割、火起こしなどを体験しながら、カレー作りを行った。



キャンプファイヤーを行い、みんなでゲームをして盛り上がった。



朝の集いでラジオ体操を行った。



朝食にカートンドックを作った。



みんなで声を掛け合いながら日暮ヶ岳登山を行い、登頂に成功した。



【参加者の声】

- ・テントに泊まるのははじめてで、少し怖かったけど、とても楽しかった。（テント泊に関すること）
- ・山頂をめざしてみんなで山を登ったことが楽しかった。（登山に関すること）
- ・みんなとカレーができて、よかった。（野外炊飯に関すること）
- ・はじめは知らない人だったけど、活動を行ううちに仲良くなれました。（友達づくりに関すること）

【成果】

参加者アンケートでは、94%が満足・やや満足と回答した。その理由として、はじめて野外炊事の中で火おこしを行ったこと、はじめてテントを設営してキャンプ場に泊まったこと、登山できつい思いをしたが山頂に到着して達成感を味わえたこと、ゲームなど楽しく活動でき、たくさんの友達ができたことなどを挙げており、キャンプのねらいを概ね達成することができた。また、法人ボランティアの活躍の場面が多く見られ、育成の面でも大きな成果があった。

【課題】

小学3・4年生を対象とした本事業は、定員を超える応募があり、需要の高いキャンプである。内容面では、活動を多く取り入れすぎて夏場のキャンプとしては、少しハードスケジュールであった。また、円滑な運営のためには、法人ボランティアの確保が重要であり、継続して活動するボランティアを育成する必要がある。